

東京社会福祉士会

2017年度 自殺予防ソーシャルワーク研修 開催要項

開催目的

自殺対策基本法が制定されて、10年が経過し、国や東京都が取り組んできた自殺対策・予防対策の結果、自殺者数が減少し、「自殺は予防する事が可能である」事が分かってきました。

では、私たちは、日常の相談の現場において「自殺」とどのように向き合えばよいのでしょうか。まずは、「自殺は予防する事が可能である」事実を認識した上で、自殺リスクが疑われる人の特性を理解し、自殺予防の視点からどのような支援を展開していけるのかを考えるきっかけになることを願って、この研修を企画いたしました。

1. 開催日：2017年11月18日（土）13:00～17:00
2. 会場：全理連ビル9階C会議室 東京都渋谷区代々木1-36-4 全理連ビル
(JR山手線・総武線・都営地下鉄大江戸線「代々木駅」北口駅前)
3. プログラム（予定）： ※当日会場内の写真撮影などがある場合があります。ご了承ください。

時間	内容（研修上のポイントや注意点など）
13:00～13:05	開会挨拶・主旨説明
13:05～13:35 講義1	【テーマ】東京都における自殺の実態と自殺対策・自殺予防について 【講師】中山 佳子 氏 東京都福祉保健局保健政策部事業調整担当課長 (講義内容) ①東京都における自殺の統計データ ②東京都における自殺総合対策の基本的な取組方針について
13:35～14:35 講義2	【テーマ】対象者の理解とソーシャルワーク実践及び自殺予防について 【講師】小高 真美 氏 上智大学グリーンケア研究所特別研究員 (講義内容) ①自殺の危険因子と保護因子 ②自殺リスクが疑われる人の特性や自殺のサインについて ③ソーシャルワークの中で出会う対象者と自殺予防について ④対象者と向き合う時の支援者の姿勢（権利擁護の視点を取り入れて） ⑤自己チェックのツールを用いた私の自殺に対する考えを知る
14:35～14:45	休憩
14:45～15:15 事業説明	【テーマ】電話相談における希死念慮者への対応事例等報告 【講師】松村 茂 氏 電話相談研究開発委員会コーディネーター
15:15～16:45 演習	【テーマ】自殺リスクが疑われる人への支援について 【講師】栗屋 友恵 氏 (東京社会福祉士会自殺予防ソーシャルワーク研修実行委員) (演習内容) ①自殺リスクが疑われる人と面接に向き合う場合の姿勢について、危機介入アプローチ等を踏まえ考える。 ②自殺リスクが疑われる人への支援にあたって、家族への支援も検討にいたした上で、相談援助職としてどのような見立てを行い、専門機関につなぐのか、について考える。
16:45～16:50	閉会挨拶（アンケート記録時間）

4. 参加対象者：自殺予防ソーシャルワークに関心のある方
5. 定 員：80名
6. 参 加 費：無料
7. 申し込方法：所定の申込書にて **FAXまたは郵便**によりお申し込みください（電話申込不可）
8. 申込締切日：10月31日（火）先着順とし、参加の可否を11月上旬に書面にて通知します。
9. 主 催：公益社団法人東京社会福祉士会電話相談事業研究開発委員会
10. 問い合わせ先：（公社）東京社会福祉士会 事務局 福井いずみ
TEL：03-5944-8466 FAX：03-5944-8467